

日本バプテスト連盟  
憲法改悪を許さない  
私たちの共同アクション

# わたしたちのひとこと ACTION for PEACE

2014年6月25日 No.4

さいたま市南区南浦和 1-2-4 日本バプテスト連盟



**武 章子**  
上尾キリスト教会

「70年前に命を奪われた子ども達に今の大人は謝罪の責任があり、平和を守るのは大人の責任（憲法集会にて）」・・・戦争を知らない子ども達と言われてきた私は大人になった。我が子と同年代の70年前の若者達に初めて思いを寄せた。やりたいこと一杯あったよね…ごめんね。大人になった私は今の子ども達を守る。一歩ずつでも…。



**片桐健司**  
品川バプテスト教会

剣を取る者は皆、剣で滅びる。力には力ということで保たれる平和は、不安定そのものです。敵を愛し、信じることから平和は生まれるのではないのでしょうか。日本国憲法こそ平和を守る最大の武器と思います。



**片桐ひさ**  
品川バプテスト教会

私は身内を戦争で亡くしました。若くて未来ある一つの命が戦争でうばわれました。二度と戦争はおこしてほしくありません。日本の憲法は平和のシンボルです。武力で守られる平和はありません。平和憲法をかえてはいけません。



**堤 秀幸**  
品川バプテスト教会

憲法は私たちの基本。決して改悪は許せません。私たちの命を大切にしていきたいと思います。



**松村誠一**  
品川バプテスト教会

「剣をさやに納めない。剣を取る者は皆、剣で滅びる。」(マタイ 26:52) 日本国憲法九条は正にイエス様の教えに合致しています。イエス様に従う信仰をもって憲法改悪に断固として反対していかなければなりません。



**木原道雄**  
相模中央キリスト教会

平和憲法を壊し、戦争の出来る軍事大国造りを目指す現政権の動向は、かつての大東亜戦争へ突き進んでいった日本の前夜を踏襲しているかのようだ。危機感の煽動、同盟国さがし、機密保持…。真の平和への道を知っている私達はこの暴挙を阻止しなければならぬ。施政者が立ち帰れるよう祈りましょう。



**大野優子**  
**恵泉バプテスト教会**

改憲は絶対反対します！ 礼拝と研修会に来てくださった吉高叶常務理事のお話を聞いて本当にそう思いました。どうか今の日本国憲法が守られますように。本当に人の命が大切にされる国づくりができる国になりますように祈り続けます。



**林 裕子**  
**恵泉バプテスト教会**

私が聖書から学んでいることは、神は命を守ることを望んでいるということだ。そして日本国憲法も人々の命と人間らしい暮らしを守る約束を示している。私は自分の命も、他の人の命も守りたい。それが本当の幸福だと信じている。私はこの幸神の希求を続けたい。この願いを壊す改憲に反対だ。



**辻子 実**  
**恵泉バプテスト教会**

1943年に『興亜讚美歌』が編集・発行されましたが、36曲収録された讚美集の最後36番は「撃ちてし止まむ」。当時の大日本帝国陸軍のスローガンをそのまま讚美歌としたのです。教会はここまで行けるのだと恐怖を覚えます。鋤を剣に（ヨエル書）だけを取り上げる教会が招来しないことを。



**藤田直彦**  
**恵泉バプテスト教会**

隣国にネガティブな発言をする小学生に、いつも「その国の人全員悪い人？」と聞きます。そして、「何か問題があれば話し合えばいいんだよ。」と言います。「話し合いで解決すること」これが日本国憲法前文にある「崇高な理想」ではないでしょうか。



**1920年生まれ 戦争の経験者 夫は  
陸軍将校 戦闘機の設計 幼児から  
教会生活 恵泉バプテスト教会**

小学六年の二月、日支事変は始まった。そのまま昭和十六年日米開戦。私達は知らぬ間に国民皆兵日本は勝つと信じこまされていた。戦争に必要な軍事費の存在をついこの間知った。誰も天皇を神と思った事は無い。多くの若者達は自ら死を喜び、親達を悲しみに。私の弟も其れを選んだ。戦争だけはノー。二度とあってはならない事です。



**あさこ**  
**恵泉バプテスト教会**

失われていい生命なんてない!! 戦争ができるようになってしまう憲法なんていりません。子ども達の輝かしい未来を守っていくのが大人の責任。(特別支援学校教師)



**クラ**  
**恵泉バプテスト教会**

子どもたちの生命が大切に守られる世の中を保証するのが、平和憲法です。小さく弱い者たちが大切にされる事こそ幸せな社会だと信じます。この危険な社会の流れをぜひ止められるよう祈りたいです。(幼稚園教師)



**竹内 瞳**  
**恵泉バプテスト教会**

今、憲法が変わろうとしているけど、変わったら「戦争をしてはならない」という根本的な思考が、「戦争をしてもいい」となってしまう。もしそうなったら、自分が大人になった時一番人生が狂ってしまって個人として尊重されなくなってしまうから、私は憲法九条の改正には反対です。(高校生)



**河瀬太郎**  
**恵泉バプテスト教会**

集団的自衛権の行使容認により憲法の三つの柱となる平和主義という考え方が根底から覆ってしまふ。そのため九条に記することが改憲草案では守られておらず、戦争ができる国になってしまうので、この現憲法の平和に対する考え方を守るために、憲法は改正するべきではないと思った。(中学生)



**○△×**  
**恵泉バプテスト教会**

「核爆弾の後ろには何もない。」深い言葉だと思いました。本の中で起こっているようなことが目の前にせまっています。はれ物にさわるかのように報道するメディアたち。国の裏側で行われようとしていることに無関心な国民たち。日本はこのループをいつ抜け出せるのでしょうか。一刻も早く抜け出せることを願います。(中学生)



**でんどうちゃん**  
**恵泉バプテスト教会**

私は、今の憲法がだんだんと戦争へ向かっていると思うのです。だっておかしいでしょ。60年くらい前に戦争しないといっていたのに・・・けんぼうありえねえ～このままだとあと5、6年後には戦争が始まるのでは・・・



**みりん**  
**恵泉バプテスト教会**

なんて自己中なんだと思いました。同じ過ちをくりかえすのはなぜなんだろう。(中学生)



**だてみつる**  
**恵泉バプテスト教会**

ぼくは、せんそうのない世の中にしたいです。(中学生)



**ド●ちゃん**  
**恵泉バプテスト教会**

もし戦争が起こったら、自分が最前線で戦うことになるので、ちょっとヤバイと思った。(中学生)



**沼沢久子**  
**浦和キリスト教会**

戦争が終わった時は、食糧もなく飢えていましたが、明るい電灯のもとで暮らせる喜びと安堵感を今も忘れることができません。戦後70年近く憲法九条によって平和が守られてきました。世界に誇れる平和憲法を解釈で壊すことは許されません。戦争は敵も味方も殺し殺される。神の教えに背くことは絶対に許されません。(87歳)



**桜井咲美**  
**浦和キリスト教会**

キリスト者こそ戦いを阻止する義務があることを分級でも繰り返し繰り返し叫んでいます。長年米軍の基地を押しつけられている沖縄の皆様方の苦しみをいつも覚えてつ、共に解放される日を待ち望み祈りを深めています。



**小嶋あみ**  
**常盤台バプテスト教会**

たたみかけるような安倍首相の動きがおそろしい日々です。私達はしっかりと目を開いてキリストにある平和を目指してゆきたいと思います。キリスト者以外の人々とも連帯して。



**齋藤 隆**

**逗子第一バプテスト教会**

憲法九条の根底に「コスモポリタン（世界連邦）」構想があります。世界が一つの国であれば軍隊は不要になります。同2項の「交戦権の否認」は国際法上の自衛権、防衛権も否定したものです。集団的自衛権は論外です。平和ボケ、戦争ボケは禁忌。目先の利益のために、わが子や孫を「人殺し」に仕立てないことです。



**武藤順子**

**花小金井キリスト教会**

平和のためには、先ず日本が武力を使わないことです。なのに海外に武器を売るとか、原発を再び動かして、さらに海外に売ろうなんて言っている政府は許せません。福島の方々の苦しみもまだ何も解決していないと言うのに、何をもって日本は平和と言えるのでしょうか。



**森山ひろみ**

**花小金井キリスト教会**

こどもの頃、近所の家々には軍服姿の遺影が飾られ、戸口には傷痕軍人が頻りに回ってきた。大切な人を亡くした女性達の苦労は、時を経た今、より鮮烈に痛みを伴って迫って来る。憲法前文に「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し」とあるのを忘れないで欲しいです。



**平和のクロス**

**三沢バプテスト・キリスト教会**

なぜ、平和を愛する憲法を変えるのか？国民はむしろ世界の平和・地球の平和を望んでいる。地球上の紛争や殺戮も望んではない。貧富や差別の無い国と社会を夢見る。日本国憲法はそのような旗印として実

効的であるべきだと私は信じる。国を護る為に、為政者は国民に問い、良心に問い、神に問うべし。



**鶴ヶ岡裕一**

**東京バプテスト神学校学生**

真の平和を創っていくための、根本的前提は、戦争をしないということです。が、そのことを規定した「憲法九条」が今、歴史的な試練に合っています。戦前と戦後は明らかに違うはずなのに、明らかに違う国民となり得ているのか、なり得ないのかの分水嶺。子ども達のためにも祈らざるを得ません。

◎あなたのひとつことをお寄せください。教会に送付してありますはがきをご利用ください。ホームページからも用紙をダウンロードいただけます。

Eメール：[hitokoto@bapren.jp](mailto:hitokoto@bapren.jp)でもお受けいたします。